

平成 17 年 11 月

(第 1 回)

京 都 府 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成17年11月17日 午前11時
閉 会 平成17年11月17日 午前11時28分

2 出席委員

藤 田 委 員 長 ・ 川 委 員 岩 田 委 員
大 橋 委 員 冷 泉 委 員 田 原 教 育 長

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

勝 間	教育次長	池 田	管理部長
宮 野	指導部長	山 内	管理部長理事・総務企画課長
中 島	教職員課長	森	学校教育課長
西 園	総務企画課参事・企画情報室長	加 藤	主 幹
岩 佐	主 事	廣 田	主 事

5 議事の概要

(1) 開会

委員長が開会を宣告

(2) 前会議録の承認

ア 10月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認。

(3) 報告事項

ア 心の教科書（仮称）作成検討委員会について

【報告】

指導部長から、心の教科書（仮称）のねらいと位置付けとして、近年の青少年に係る様々な事件・事象の背景としての心の教育の重要性に鑑み、京都から全国に向けて、京都発の心の教育の創造・発信を目指して作成するものであること。

京都ゆかりの人や文化人の方々に協力をいただき、児童生徒のよりよく生きようとする意欲や態度を培い、さらに人間性を育む教材資料として作成すること。

道徳の時間に活用する教材資料集として作成することとの説明がされた。検討体制については、心の教育は幅広い分野にわたることから人権、哲学、自然科学、文学、伝統文化の5つの分野を代表される京都ゆかりの5名の方々に総合的な指導助言・監修的な役割を依頼し、具体的な構成内容や執筆については、学識経験者、文化人、財界人、教育関係者としてそれぞれの分野で活躍いただいている10名の方に作成検討委員会委員を依頼し、作成検討委員会の下に小・中学校教員と指導主事で構成するワーキング部会を設けて詳細の検討や作業を行うとの説明があった。

また、第1回作成検討委員会（平成17年11月7日）において、心の教育については、「生きることと同時に死という問題も教育が担う必要があるのではないか」、「伝統や文化の中で培われてきた価値観やモラルを継承するという垂直の関係が軽視されてきたのではないか」、「単に言葉を通した理解ではなく、人間や自然との触れあいの中で、心に響かせ体で感じ取る教育が必要ではないか」といった意見が出され、心の教科書（仮称）については、「義務教育9年間における児童生徒の心の発達段階に対応する必要がある」、「構成する視点としては、4つの係わり（自分自身、他人、自然や崇高なもの、社会や集団）をあげ、多面的な価値観を育むということに意義があること」、「府民参画による教材資料集としての心の教科書（仮称）にしていくことは、大人への啓発にも繋がる内容になること」、「大人の道徳教育こそ重要であり、保護者・家庭啓発に資するものにしていきたい」等の意見が出された、との報告があった。

【意見等】

幅広い分野の委員によって検討をいただき、児童生徒も興味を持って、また、教訓になる良いものができることを期待しており、できる限り早く作成の上、広く活用いただくということを考えて進めること、との意見が出された。

(4) 議決事項

ア 第45号議案

平成18年度教職員人事異動方針について 【非公開】

[原案どおり可決。]

(5) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第1号)

議決事項について、全出席委員異議なく、公開しないこととすることに議決。

(6) 閉会

委員長が閉会を宣告

署 名

藤 田 委 員 長

細 川 委 員

岩 田 委 員

大 橋 委 員

冷 泉 委 員

田 原 教 育 長

事 務 局 職 員